

第20回 ジュニアかなざわオンライン検定 解答と解説（中学生版）

問題1

金沢は雪国で積雪量も多い。そのため、雪の重みで枝がおれないように樹木にほどこされるものは何か。

- 1 こもかけ
- 2 こもまき
- 3 雪つり
- 4 わらまき



雪は独特の美しい景観や恵（めぐみ）をあたえている。樹木にほどこされた「雪つり」にうっすらと雪化粧（ゆきげしょう）された兼六園（けんろくえん）の風情は、観光客の目をひきつけている。

問題2

金沢は、藩政（はんせい）時代から今日までさまざまな分野で活躍（かつやく）する人々を育んできた。天文学者でZ項（ぜつこう）を発見した人物はだれか。

- 1 木村栄（きむらひさし）
- 2 鈴木大拙（すずきだいせつ）
- 3 磯田謙雄（いそだのりお）
- 4 野口遵（のぐちしたがう）

Z項の発見により、地球上の緯度（いど）観測をより正確に行えるようになった。

問題 3

金沢市は、伝統工芸がさかんな地域であり、特に金箔（きんぱく）の生産で知られている。金沢市の金箔の生産量は日本の総生産量の何パーセントといわれているか。

- 1 30 パーセント
- 2 50 パーセント
- 3 70 パーセント
- 4 100 パーセント



金沢市の金箔の生産量は長らく全国の 99 パーセントをしめていたが、県外で唯一（ゆいひつ）生産していた職人が引退し、今では全国の金箔の 100 パーセントが金沢で生産されているといわれている。

問題 4

2006 年（平成 18）から始まった地域の除雪作業を支援（しえん）する制度で、地域からの要請（ようせい）に応じて行う雪かきボランティアに登録されているのは主にどんな人か。

- 1 公務員
- 2 主婦・主夫
- 3 学生
- 4 シニア

雪かきボランティアは学生のほか企業（きぎょう）や市民活動団体等によって行われ、雪かきをきっかけに若い世代と地域との交流が深まっている。

問題 5

明治時代に生まれた金沢出身の土木技師で、当時日本統治下にあった台湾（たいわん）でアジア最大のダムを建設した人物はだれか。

- 1 八田興一（はったよいち）
- 2 高峰譲吉（たかみねじょうきち）
- 3 津田米次郎（つだよねじろう）
- 4 三宅雪嶺（みやけせつれい）

金沢市出身の八田興一は、日本統治下の台湾に渡り烏山頭（うさんとう）ダムを完成させた。これにより嘉南（かなん）平野は台湾有数の農業地となっている。

問題 6

金沢駅は 2011 年（平成 23）、アメリカの旅行雑誌にて「世界で最も美しい駅」の 1 つに国内で唯一（ゆいいつ）選ばれた。金沢駅のシンボルはどれか。

- 1 もてなしドームと鼓門（つづみもん）
- 2 徽軫灯籠（ことじとうろう）
- 3 石川門（いしかわもん）
- 4 鼠多門（ねずみたもん）



金沢は雨や雪が多いため「駅を降りた人に傘（かさ）を差し出すおもてなしの心」をコンセプトにもてなしドームが誕生した。金沢でさかんな伝統芸能の能楽で使われる鼓をイメージした鼓門もフォトスポットとして人気である。徽軫灯籠は兼六園にあり、石川門は金沢城跡の東に位置し、鼠多門は玉泉院丸に位置している。

問題 7

加賀藩（かがはん）の代々の藩主は能楽や茶の湯を積極的に取り入れた。3代藩主前田利常（まえだとしつね）が茶道を学ぶため招いた茶人はだれか。

- 1 宗旦（そうたん）
- 2 千利休（せんのりきゅう）
- 3 仙叟宗室（せんそうそうしつ）
- 4 本阿弥光悦（ほんあみこうえつ）

仙叟宗室は裏千家（うらせんけ）の初代家元となった茶人である。裏千家は千家茶道の伝統を大切に守り伝えるとともに、今日における茶の湯文化のあるべき姿を考え、時代にそくした茶の湯を実践（じっせん）している。

問題 8

国連のユネスコは、創造都市〔独自の文化を産業と結び付け、新しい価値を創造してまちを元気にしている都市〕のネットワークづくりを提唱している。金沢市は 2009 年（平成 21）にこの創造都市に認定されたが、認定された分野はどれか。

- 1 クラフト
- 2 デザイン
- 3 メディア
- 4 食文化

金沢の伝統工芸〔クラフト〕は、藩政時代から今日に至るまで守り続けられてきた。

問題 9

藩政期（はんせいき）から続く芸術文化に関心を持つ金沢のまちの気風と市民の強い熱意によって戦後すぐに設立され、2023 年（令和 5）10 月に移転新築し、今年創立 80 周年をむかえるこの施設（しせつ）はどれか。

- 1 金沢 21 世紀美術館
- 2 金沢美術工芸大学
- 3 国立工芸館
- 4 こどもアート工房みたいに



戦後に伝統と美を大切にする金沢市民の期待に答え、1946 年（昭和 21）に金沢美術工芸専門学校として開学した。その後、金沢美術工芸短期大学を経て金沢美術工芸大学となった。

問題 10

明治になり、金沢にも軍隊がおかれることとなった。1904 年（明治 37）には日露（にしろ）戦争が起こり、金沢の第九師団も戦地で戦い、翌年にはロシア兵の捕虜（ほりょ）が金沢にも送られてきた。その時に亡くなったロシア兵の墓があるのはどこか。

- 1 内川墓地公園
- 2 野田山墓地
- 3 奥卯辰山（おくうたつやま）墓地公園
- 4 末広墓地

1896 年（明治 29）頃、金沢には 1 万人以上の兵士やその家族が住むこととなった。

問題 11

金沢市内での近年の発掘（はっくつ）調査により、縄文時代の人々のイメージがぬりかえられている。縄文時代中期の遺跡（いせき）で、日本で初めて発見された石の指輪やヒスイのペンダントが発見された遺跡はどこか。

- 1 北塚（きたづか）遺跡
- 2 チカモリ遺跡
- 3 西念（さいねん）・南新保遺跡
- 4 七ツ塚遺跡

北塚遺跡は2004年（平成16）に金沢市指定文化財に指定された。調査によって縄文人は高度な技術をもち、感性豊かな自然人であったことが明らかになっている。

問題 12

金沢の市街地近郊（きんこう）では野菜・花・果物などいろいろな種類が生産されている。昔から金沢で栽培（さいばい）されている「加賀野菜」は何品目あるか。

- 1 5品目
- 2 7品目
- 3 10品目
- 4 15品目



加賀野菜に認定されているのは、金時草・加賀太きゅうり・たけのこ・打木赤皮甘栗（うつぎあかがわあまぐり）かぼちゃ・ヘタ紫なす・加賀つるまめ・赤ずいき・加賀れんこん・さつまいも・金沢一本太ねぎ・源助だいこん・金沢春菊（しゅんぎく）二塚からしな・金沢せり・くわいの15品目である。

問題 13

大和朝廷（やまとちょうてい）が勢力をのばしていた頃、金沢地方を治めていたといわれる豪族（ごうぞく）で、娘を天智天皇（てんじてんのう）の宮人（みやびと）として仕えさせたのはだれか。

- 1 加賀君（かがのきみ）
- 2 道君（みちのきみ）
- 3 金沢君（かなざわのきみ）
- 4 河北君（かほくのきみ）

道君の娘はやがて皇子を産み、その皇子の子どもは後に光仁（こうにん）天皇となったため、天皇と親戚（しんせき）関係ができた道君は、8世紀にかけて勢力を伸ばしていった。

問題 14

明治時代には、金沢から世界にほこることのできるすぐれた業績を残した人々を輩出（はいしゅつ）している。強い消化効力のある胃腸薬「タカジアスターゼ」を発明し、血圧を上げたりする治療薬（ちりょうやく）「アドレナリン」を発見したのはだれか。

- 1 高多久兵衛（たかだきゅうべえ）
- 2 鈴木大拙（すずきだいせつ）
- 3 横山隆興（よこやまたかおき）
- 4 高峰譲吉（たかみねじょうきち）

高峰譲吉の功績を顕彰（けんしょう）し、あわせて科学教育の振興（しんこう）を図ることを目的として1952年（昭和27）に高峰譲吉博士顕彰会により高峰賞が制定された。「理科」「数学」に興味・関心が高く、優秀であり、科学に関する研究の実績を有する市内の中学3年生に毎年、高峰賞を授与（じゅよ）している。

問題 15

幕府は諸大名支配のため、大名の妻子を人質として江戸（えど）の屋敷（やしき）におき、大名は1年おきに領地と江戸に住む参勤交代制度を作った。前田家が金沢城から江戸へ行くために、主に利用した街道はどの道か。

- 1 東海道
- 2 北国下街道
- 3 甲州街道
- 4 日光街道

「参勤」は大名が金沢から江戸に行くこと、「交代」は江戸から金沢へ帰ることをいう。参勤交代で前田家は、主に北国下街道を経由して中山道に入るコースを利用した。

問題 16

金沢城跡（じょうせき）は2008年（平成20）、国指定史跡（しせき）となり、復元整備事業として、今までに菱櫓（ひしやぐら）、橋爪門（はしづめもん）、橋爪門続櫓（つづきやぐら）、五十間長屋（ごじっけんながや）が完成している。2020年（令和2）には金沢城西側の門と橋が約140年ぶりに復元されたが、その門の名前は何か。

- 1 橋爪門二の門
- 2 河北門（かほくもん）
- 3 鼠多門（ねずみたもん）
- 4 石川門



現在は石垣（いしがき）の計画的な保全対策が行われている。

問題 17

鎌倉（かまくら）時代、加賀地方で勢力を拡大し、藤原利仁（ふじはらのとしひと）の子孫といわれた一族で、『安宅（あたか）』や歌舞伎（かぶき）の『勧進帳（かんじんちょう）』で後世に知られたのは何氏か。

- 1 林氏
- 2 山科（やましな）氏
- 3 伏見（ふしみ）氏
- 4 富樫（とがし）氏

1335 年（建武 2）、17 代目の富樫高家（とがしたかいえ）は足利尊氏（あしかがたかうじ）方につき、戦いで手柄（てがら）をたて、尊氏から加賀国の守護に任命された。

問題 18

金沢は歴史を大切にするまちづくりを行っており、市内には昔の書や絵画、工芸品を展示している美術館や博物館がたくさんある。近年は大正から昭和初期の建物もその価値が評価されて、大事に保存されるようになってきた。金沢文芸館もその 1 つで、昭和初期の建物だが、建てられた当時は何の建物だったか。

- 1 郵便局
- 2 警察署
- 3 消防署
- 4 銀行



昭和初期の建物である金沢文芸館は、元々は銀行だった建物を金沢市が改修し、文芸館に生まれ変わった。竣工した 1929 年（昭和 4）から、この建物は地域のランドマークとして市民に親しまれている。

問題 19

まがりくねったさまざまな形の田を縦・横一定の長さに調整し、農道や水路を計画的に配置する事業を耕地整理という。この耕地整理を 1888 年（明治 21）に日本で最初に成しとげた石川郡安原村〔現在の金沢市上安原町〕の地主はだれか。

- 1 長谷川準也（はせがわじゅんや）
- 2 和泉要助（いずみようすけ）
- 3 高多久兵衛（たかだきゅうべえ）
- 4 稲垣義方（いながきよしかた）

彼の耕地整理の成功を視察するために、各地からたくさんの人々が訪れた。

問題 20

2025 年（令和 7）7 月、中高生を中心とする青少年の新しい居場所として「かなざわユースセンター」が開設された。家でも学校でもないこの第 3 の居場所では、青少年が「くつろぐ」「遊ぶ」「勉強する」「おしゃべりをする」「なやみを相談する」など、自分らしく安心して過ごせる空間となっている。青少年が思い思いに過ごせるこの場所の拠点（きょてん）となっている施設（しせつ）はどこか。

- 1 長土堀（ながどへ）青少年交流センター
- 2 玉川こども図書館
- 3 金沢未来のまち創造館
- 4 金沢市民芸術村



かなざわユースセンターではユースワーカーと呼ばれるスタッフが常駐（じょうちゅう）しており、スタッフや利用者が企画したイベントも毎月行っている。

問題 21

鎌倉時代から室町時代にかけて、新しい仏教が広がっていった。そのころ、加賀の地で曹洞宗（そうとうしゅう）を広めたのはだれか。

- 1 親鸞（しんらん）
- 2 蓮如（れんにょ）
- 3 徹通義介（てつとうぎかい）
- 4 運良（うんりょう）

曹洞宗永平寺の名僧（めいそう）、徹通義介は加賀国を治めていた富樫家尚（とがしいえひさ）にたのまれて、大乘寺（だいじょうじ）の初代住持（じゅうじ）になった。大乘寺には優れたお坊（ぼう）さんが多く集まった。

問題 22

金沢市では、スポーツを盛んにすることで、まちの活力を高めようとしている。2018 年（平成 30）の金沢市スポーツ文化推進条例の制定により、市民と選手がふれあう機会を増やす取り組みにも積極的である。金沢市のホームタウンチーム「ツエーゲン金沢」のスポーツ種目はどれか。

- 1 野球
- 2 サッカー
- 3 バレーボール
- 4 バスケットボール



ツエーゲンとはドイツ語で「チームとサポーターが共に進んでいく」という意味と金沢弁で「強いんだっ！（つえーげん!）」の意味をもっている。

問題 23

新潟県から富山県、石川県、福井県を経て、滋賀県に至る総延長 487 キロメートルの高速道路が北陸自動車道である。この長い高速道路のうち、一番最初の 1972 年（昭和 47）10 月 18 日に開通したのは石川県内のどこからどこまでか。

- 1 名立谷浜（なだちたにはま）インターチェンジから朝日インターチェンジまで
- 2 金沢西インターチェンジから小松インターチェンジまで
- 3 小松インターチェンジから福井北インターチェンジまで
- 4 金沢西インターチェンジから富山インターチェンジまで

北陸自動車道は東では長岡ジャンクションで関越自動車道と、西では米原ジャンクションで名神高速道路と、中間では小矢部砺波（となみ）ジャンクションで東海北陸自動車道と接続しており、交通網の整備を通して地域の発展と活性化が進められている。

問題 24

加賀藩第 11 代藩主前田治脩（まえだはるなが）の時代に兼六園内に建てられた藩校で、身分を問わず 8 歳以上の男子が入学でき、儒学（じゅがく）を中心に漢学・算術・医学・天文学などが教えられていたのはどこか。

- 1 経武館（けいぶかん）
- 2 明倫堂（めいりんどう）
- 3 壮猶館（そうゆうかん）
- 4 竹沢御殿（たけざわごてん）

明倫堂は加賀藩の藩校であり身分を問わず入学できた。経武館は武芸の鍛錬（たんれん）を目的に設置されており、壮猶館は 1854 年の開国後に洋式兵学校として開校した経緯（けい）がある。竹沢御殿は兼六園につくられた前田家の隠居所（いんきょじょ）である。

問題 25

明治時代、金沢に3人の文豪（ぶんごう）が生まれた。その中で、下新町に生まれ『滝（たき）の白糸』や『義血侠血（ぎけつきょうけつ）』を書いたのはだれか。



- 1 徳田秋声（とくだしゅうせい）
- 2 森鷗外（もりおうがい）
- 3 泉鏡花（いずみきょうか）
- 4 夏目漱石（なつめそうせき）

泉鏡花は1873年（明治6）に下新町に生まれ、父は象嵌（ぞうがん）細工職人、母の兄は能楽師という工芸・芸能が身近な環境（かんきょう）で育った。

問題 26

江戸時代になり、町が整備されると米市場や魚市場なども現れ、商業が盛んになり貨幣（かへい）がつくられるようになった。貨幣ができたのは前田利家の時代だが、原料となる金銀が産出された山はどこか。

- 1 宝達山（ほうだつさん）
- 2 卯辰山（うたつやま）
- 3 白山
- 4 鞍掛山（くらかけやま）

天正年間（1573～92）、豊臣秀吉にならって多くの金・銀貨をつくらせたのが始まりである。次の前田利長・利常の時代にも、一分銀（いちぶぎん）や大豆板銀（まめいたぎん）などいろいろな金・銀貨がつくられた。

問題 27

金沢市ではすべての人が平等に普通の生活を送れるまちを目指し、「ノーマライゼーションプラン金沢」が定められている。金沢市で実際に運行しているバスで、だれもが気軽に買い物や散策に出られるようバスの入口から出口まで低くて段差のない床になっているバスを何というか。



- 1 まちバス
- 2 城下町金沢周遊バス
- 3 循環（じゅんかん）バス
- 4 金沢ふらっとバス

ふらっとバスは、ふらっと乗れる気楽さと段差のないフラットなバスにちなんで名付けられた。乗り降りスロープや車いすの固定装置も備えている。

問題 28

加賀藩藩主前田綱紀（まえだつなのり）は学問が好きで、日本中から有名な学者を招いたり、貴重（きちょう）な書物を集めたりした。江戸時代を代表する学者として有名な新井白石はこのような加賀藩のことを、何とほめたたえたか。

- 1 加賀は天下の大学
- 2 加賀は天下の図書館
- 3 加賀は天下の博士
- 4 加賀は天下の書府

前田綱紀は当時、漢学〔当時の中国の学問〕では日本一といわれていた木下順庵（きのしたじゅんあん）や、本草学〔薬草の学問〕の第一人者として知られていた稲生若水（いのうじやくすい）などを金沢に住まわせて学問を奨励（しょうれい）した。

問題 29

2025 年（令和 7）10 月、金沢市は新たにある市と友好都市協定を締結（ていけつ）した。この市には、かつて前田利家の五男・利孝（としたか）が築いた七日市藩があり、金沢製糸場をつくる際にはこの市にあった当時全国最大規模の製糸場に金沢市から技術者が派遣され、建築や製糸の技術が継承（けいしょう）された。歴史的・文化的に深いつながりがあるこの市はどこか。

- 1 藤岡市
- 2 高崎市
- 3 富岡市
- 4 前橋市

金沢市と富岡市はこれまでも観光交流などを行ってきたが、友好都市協定を締結することで、互いの文化や地域性を尊重しつつ、さらに絆を深め、末永い友好関係を築くとともに、市民間及び都市間の交流を推進し、両市の活性化を図っていくこととしている。

問題 30

歴史的な集落やまちなみの中で、価値が非常に高いと判断した「重要伝統的建造物群保存地区」として国が選定した金沢市内の地域はどこか。

- 1 「東山ひがし」「主計（かずえ）町」「卯辰山山麓（うたつやまさんろく）」「寺町台」
- 2 「夕日寺」「神谷内」「富樫」「長坂台」
- 3 「長町」「材木町」「味噌蔵（みそぐら）町」「犀桜（さいおう）地区」
- 4 「田上」「医王山」「朝霧台（あさぎりだい）」「湯涌（ゆわく）」



国は令和 6 年 8 月現在、全国で 43 道府県 106 市町村 129 地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定している。石川県からは 8 地区が選定されており、長野県と並び全国トップであるが、その半数が金沢市の地区である。

問題 31

金沢市の町名には、藩政時代の町の性格を表したものが数多くある。加賀藩の老臣（ろうしん）・前田対馬守（つしまのかみ）家の下屋敷（しもやしき）があったところで、同家の家紋（かもん）にちなんでつけられた町名はどれか。

- 1 主計（かずえ）町
- 2 金石（かないわ）町
- 3 六枚町
- 4 飛梅（とびうめ）町

飛梅町は藩の老臣・前田氏の家紋「角の内梅輪」にちなんだ町名である。

問題 32

金沢城を中心にして発展してきた金沢の町は、1871 年（明治 4）の廃藩置県（はいはんちけん）により衰退（すいたい）してしまったため、町のにぎわいを取りもどすために 1874 年（明治 7）に「金沢博覧会」が開催された。その時の会場はどこか。

- 1 寺島蔵人邸（てらしまくらんどてい）と旧中村邸
- 2 長町武家屋敷（ながまちぶけやしき）と天徳院
- 3 尾山神社と西別院
- 4 成巽閣（せいそんかく）と東別院

会場には銅器や漆器など 6,200 点あまりが展示され、入場者は 30 日間で 7 万人に達した。

問題 33

金沢市の北西部の砂地には、すいかやさつまいもなどの野菜が多く作られている。すいかの苗は環境の変化や病気に弱くて育ちにくいですが、ある野菜の苗に接ぎ木をすると病気に強い苗を育てることができる。その野菜は何か。

- 1 ナス
- 2 かぼちゃ
- 3 トマト
- 4 ピーマン



かぼちゃ台は寒さに強く、砂地に適している。

問題 34

江戸時代以降、加賀藩では独自の金・銀貨が作られていたが、江戸幕府が全国共通の貨幣（かへい）を使うようすすめていたことをうけ、藩内で貨幣を造ることをやめている。この時の加賀藩第5代藩主はだれか。

- 1 前田重教（まえだしげみち）
- 2 前田利長（まえだとしなが）
- 3 前田斉広（まえだなりなが）
- 4 前田綱紀（まえだつなのり）

加賀藩での貨幣を造ることをやめる判断をしたのは第5代藩主の前田綱紀である。それまでに加賀藩で造られた金・銀貨は約 50 種類におよんでいる。

問題 35

戦争が終わり、石川県では 1949 年（昭和 24）、現在の金沢城公園に 4 年制の新制大学が開学した。「お城の中の大学」として全国に有名になった大学はどこか。

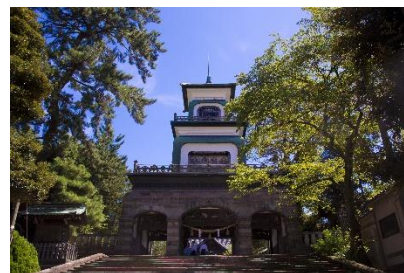
- 1 金沢美術工芸大学
- 2 金沢大学
- 3 金沢学院大学
- 4 北陸大学

開校当時は金沢城内にあった旧陸軍の木造兵舎を校舎として使用した。金沢大学は平成初期から中期にかけて、現在の角間キャンパスに移転した。

問題 36

金沢市には古くから残る建物がたくさんあり、多くの人から親しまれ大事に守られてる。その中で、最上階に 4 色のギヤマン〔色ガラス〕がはめこまれた神門が国の重要文化財に指定されている、前田利家と正室お松の方をまつた建物は何か。

- 1 金沢城
- 2 卯辰八幡宮（うたつはちまんぐう）
- 3 尾山神社
- 4 天徳院



尾山神社の神門は全国的にも珍しい和漢洋の 3 つの建築様式が用いられており、屋根の上についている避雷針（ひらいしん）は現存する日本最古のものといわれている。

問題 37

明治時代の後半以降は、県が中学校〔今の高等学校にあたる〕や女子の教育を行う高等女学校をつくった。当時の私立金沢女学校は現在の北陸学院高等学校になっているが、石川尋常（じんじょう）中学校は石川県立金沢第一中学校となった後、現在のどの高等学校になっているか。

- 1 金沢商業高等学校
- 2 金沢桜丘高等学校
- 3 金沢二水高等学校
- 4 金沢泉丘高等学校

明治時代、小学校に通う子どもが増えてくると、さらに深く学ぶ学校をつくってほしいという声が市民からもおこった。石川県立尋常中学校ができたのは 1887 年（明治 20）である。その後、県立金沢第一中学校となり、後に県立金沢泉丘高等学校となった。

問題 38

金沢には、年中行事が今も数多く残っている。金沢の年中行事のうち、加賀藩から江戸の将軍に氷を献上（けんじょう）したことにちなんだ行事で「氷室の朔日（ついたち）」といわれ、氷室まんじゅうを食べる風習が残るのは何月のことか。

- 1 1 月
- 2 3 月
- 3 7 月
- 4 10 月



冬の間に保存しておいた氷を将軍に献上したことにちなんだ行事である。現在では 7 月 1 日に氷室まんじゅうを食べると病気にかからないという風習がある。

問題 39

金沢に初めて電灯が灯ったのは、1894 年（明治 27）に兼六園で開かれた関西府県連合共進会場と、尾山神社の門前にアーク灯がつけられたときである。一般家庭に電灯が灯ったのはいつか。

- 1 1900 年（明治 33）
- 2 1905 年（明治 38）
- 3 1910 年（明治 43）
- 4 1915 年（大正 4）

当時の市民は電気をぜいたく品と考えていたので、利用者はなかなか増えなかった。

問題 40

明治時代の金沢三文豪の 1 人で「あにいもうと」「杏（あんず）っ子」など、金沢の風物と少年時代の喜び・悲しみをえがいた人物はだれか。

- 1 室生犀星（むろおさいせい）
- 2 尾崎紅葉（おざきこうよう）
- 3 徳田秋声（とくだしゅうせい）
- 4 永井荷風（ながいかふう）



「あにいもうと」「杏っ子」の作者は室生犀星であり、室生犀星と泉鏡花、徳田秋声の 3 人が金沢三文豪である。

問題 41

西洋化を進めた明治時代には、金沢にも新聞・写真・洋服などが登場し、人々は新しいものに興味を持ち始めた。新聞の第1号は1871年（明治4）の吉本次郎兵衛（よしもとじろべえ）が発行した「開化新聞」だが、1893年（明治26）に「北國（ほっこく）新聞」を発行したのはだれか。

- 1 西田幾多郎（にしだきたろう）
- 2 泉鏡花（いずみきょうか）
- 3 赤羽萬次郎（あかばねまんじろう）
- 4 藤岡作太郎（ふじおかさくたろう）

赤羽萬次郎が発行した「北國新聞」では、泉鏡花や石橋忍月（いしばしにんげつ）など各界の人が執筆にあたった。

問題 42

藩政時代に「加賀の平賀源内」といわれた人物で、長崎でオランダ人に西洋医学や理化学、天文学を学び、『一東視窮録（いっとうしきゅうろく）』にエレキテル・写真術・無尽灯（むじんとう）などの最新技術の知識をまとめた人物はだれか。

- 1 銭屋五兵衛（ぜにやごへえ）
- 2 木屋藤右衛門（きやとうえもん）
- 3 大野弁吉（おおのべんきち）
- 4 黒川良安（くろかわまさやす）

「加賀の平賀源内」といわれたのは大野弁吉である。豪商（ごうしょう）の銭屋五兵衛の援助（えんじょ）をうけてたくさんのからくりや工芸品を残している。

問題 43

2025 年（令和 7）12 月、「加賀料理」が国の「登録無形文化財」に選ばれた。日本国内において、和食分野では京料理に続く登録であり、その繊細（せんさい）な技術と独自の美学は今、改めて世界中から熱い視線を浴びているが、加賀料理はどれか。

- 1 治部煮（じぶに）
- 2 ほうとう
- 3 しもつかれ
- 4 きりたんぽ



加賀百万石の栄華（えいが）をほこる前田家の庇護（ひご）のもと、美術工芸の職人の招致（しょうち）・育成や茶道の保護など、さまざまな文化振興（しんこう）策の影響を受け、加賀の美意識と融合（ゆうごう）した独自の食文化が形づくられた。ほうとうは山梨県、しもつかれは栃木県、きりたんぽは秋田県の郷土料理である。

問題 44

江戸時代の金沢の農村では、村の年貢米（ねんぐまい）を集めるため武士や農民による村の統治が行われていた。このうち農民から選ばれた村役人はどれか。

- 1 算用場奉行（さんようばぶぎょう）
- 2 郡奉行（こおりぶぎょう）
- 3 組合頭（くみあいがしら）
- 4 改作奉行（かいさくぶぎょう）

組合頭は、同じ村役人である肝煎（きもいり）を助ける役職であった。

問題 45

2008 年（平成 20） 7 月 28 日に 55 年ぶりに浅野川が氾濫（はんらん）し、浅野川水害がおこった。このとき多くのボランティアの方が協力してくれたことを大切にし、後世に伝えていくためにつくられた日を何というか。

- 1 金沢「友情」の日
- 2 金沢「絆（きずな）」の日
- 3 金沢「助け合い」の日
- 4 金沢「共助」の日

7 月 28 日を中心に、すべての市立小中学校で、児童会・生徒会が中心となり保護者・地域の人も連携（れんけい）しながら、人とのつながりを大切にした活動を行っている。

問題 46

金沢市の浄水場（じょうすいじょう）では、徹底（てってい）した水質管理が行われている。他にも参考として水が安全かどうかを調べるために「監視魚（かんしぎょ）」と呼ばれる魚がいるが、何という魚か。

- 1 メダカ
- 2 フナ
- 3 金魚
- 4 熱帯魚



金沢市内には末浄水場と犀川（さいがわ）浄水場の 2 か所がある。

問題 47

金沢の芋掘藤五郎（いもほりとうごろう）の伝説は、奈良時代の「炭焼き長者」伝説が元になってつくられたといわれている。藤五郎伝説と同時期の遺跡である三小牛（みつこうじ）さこ山遺跡からは、奈良時代当時の貨幣が国内最多の 580 枚出土している。この貨幣は何か。

- 1 富本銭（ふほんせん）
- 2 和同開珎（わどうかいちん）
- 3 永楽通宝（えいらくつうほう）
- 4 慶長小判（けいちょうこばん）

金沢市三小牛町の山中に三小牛さこ山遺跡と隣接（りんせつ）して位置する三小牛ハバ遺跡からは、奈良時代の仏像が出土している。

問題 48

金沢では、藩政時代から続く文化が今もたくさん残っている。前田利家が越前の府中〔現在の福井県越前市〕を治めていた頃、領民が年の初めのお祝いにおどっていたおどりが、金沢でも行われるようになり、その後、能楽師の大石藤五郎が定着させた伝統文化は何か。

- 1 ジョンガラ節
- 2 加賀獅子（かがじし）
- 3 山王悪魔払（さんのうあくまばらい）
- 4 加賀万歳（かがまんざい）



加賀万歳のはじまりは前田利家の時代であり、19 世紀の初めに能楽師の大石藤五郎が定着させた。そのため、能楽の影響（えいきょう）を受けており、舞（まい）や語りがユーモアのある中にも品格がある。

問題 49

金沢市の現在の面積は約 469 平方キロメートルであり、市制がしかれた時の 40 倍以上になっている。金沢に市制がしかれたのは何年か。

- 1 1868 年（明治元）
- 2 1889 年（明治 22）
- 3 1912 年（大正元）
- 4 1925 年（大正 14）

1889 年に市制がしかれ、1925 年頃から隣接の石川郡や河北郡の町村を編入・合併しつつ市域を拡大した。

問題 50

2027 年（令和 9）5 月 6 日から約 11 か月間、リニューアルのため休館となる施設で、21 世紀という大きな歴史の転換点にあたり、「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑（にぎ）わいの創出」を目的に開設された金沢市の代表的な文化施設はどれか。

- 1 石川県立音楽堂
- 2 金沢 21 世紀美術館
- 3 泉鏡花記念館
- 4 金沢城



金沢 21 世紀美術館の休館中、旧日本銀行金沢支店跡地（あとち）を活用し、作品を展示するとともに、休館中も多くの人に金沢を訪れてもらえるよう「金沢まちなか芸術祭」を開催する予定である。

第 20 回ジュニアかなざわオンライン検定解答（中学生版）

問題	解答	問題	解答
1	3	26	1
2	1	27	4
3	4	28	4
4	3	29	3
5	1	30	1
6	1	31	4
7	3	32	4
8	1	33	2
9	2	34	4
10	2	35	2
11	1	36	3
12	4	37	4
13	2	38	3
14	4	39	1
15	2	40	1
16	3	41	3
17	4	42	3
18	4	43	1
19	3	44	3
20	1	45	2
21	3	46	3
22	2	47	2
23	2	48	4
24	2	49	2
25	3	50	2

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、
法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市、株式会社石川ツエーゲン、金沢市農産物ブランド協会